

様式第 1 (第 15 条関係)

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 3 回和泉市市民活動支援制度判定会
開催日時	平成 27 年 12 月 4 日 (金) 午前 9 時 30 分から 11 時 10 分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1 階 中集会室
出席者	黒田会長、青山委員、笠井委員、森吉委員 事務局 (濱田公民協働推進室室長、藤井公民協働推進室総括主査、山本公民協働推進室主任、仲公民協働推進室主事)
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援対象団体の実績報告にかかる審査について ・ 平成 28 年度事業における応募団体の審査について
会議の要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 会長あいさつ 2. 支援対象団体の実績報告にかかる審査について 3. 平成 28 年度事業における応募団体の審査について 4. その他
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項 (会議の公開・非公開、傍聴人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：1 人 ・ 議事録の公開：有り

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【司会】

本日はお忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

只今から、平成27年度第3回和泉市市民活動支援制度判定会を開催させていただきます。私、本日の司会進行をさせていただきます市長公室公民協働推進室の藤井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の判定会の欠席について報告をさせていただきます。湯川委員におかれましては所要のため欠席の連絡をいただいています。又、青山委員におかれましては、所用により少し遅れるとの連絡をいただいています事を報告させていただきます。

それでは、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

本日配布させていただいております資料が次第と資料1から資料7までの資料となっております。先に郵送させていただいている27年度実績報告書7団体分、それと28年度応募団体、エントリーシート33団体分の方でございます。本日、差し替えという形でのぞみ野の夏まつり実行委員会、国府校区納涼大会実行委員会、月の明かりコンサート実行委員会の関係資料について机上配布をさせていただいておりますが、差し替えで配布させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

次に進めさせていただきます。

本日の判定会の流れを簡単に説明させていただきます。次第1、黒田会長からごあいさつをいただいた後、次第2、今回実績報告があった7団体について、事務局より説明をさせていただき、審査・判定をさせていただきます。

次に次第3、平成28年度事業における応募団体、38団体について事務局より説明をさせていただき、審査・判定をさせていただきます。

次に次第4、その他として、今後のスケジュール等についてご報告させていただきます。

以上が本日の判定会の流れでございます。それでは、以後の進行について会長よろしくお願い申し上げます。

【会長】

おはようございます。本日は、よろしくお願いいたします。

審議事項がたくさんありますので進めてまいりたいと思います。それでは、会議に入ります前に和泉市助成審査委員会規則第6条第2項の規定によりまして、会議の開催要件であります委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進めさせていただきます。

それでは、次第2の申請団体の実績報告にかかる審査を行います。申請のあった団体について事務局、一括で説明をお願いします。

【事務局】

それでは、公民協働推進室の山本より実績報告書の提出がありました7団体について、まとめてご説明させていただきます。

まず初めに、お配りさせていただいております資料につきまして、ご説明させていただきます。資料1につきましては、各団体への交付決定額の一覧でございます。今回、提出のありました団体につきましては、色を付けさせていただいております。団体番号1、3、6、7、16、19、33の7団体でございます。次に資料2につきましては、当初予算と決算の内容が比較できるようにまとめさせていただいております資料でございます。

す。また、団体から提出されました実績報告に係る関係書類と当初のエントリーに係る関係書類を事前に送付させていただいております。

次に資料3につきましては、判定をしていただく資料といたしまして、各団体の総事業費や交付申請額、届出額等を記載させていただいており、各団体の実績内容が適正であるかを判定いただくシートとなっております。

それでは、各団体の実績内容につきまして、ご説明させていただきます。

まず、初めに団体番号1「のぞみ野街づくり推進委員会」でございます。

同団体より提出のありました事業報告書を基に事業内容を確認したところ、7月25日に桃山学院大学のチャペル前広場にて河内家菊水丸による盆踊りやストリートダンス、阿波踊り、いずみ太鼓「鼓聖泉」、モンキーパフォーマンス、桃山学院大学の吹奏学部とチアリーディング部による催し物等を行うのぞみ野夏まつりを開催しており、今回11周年を迎え、知名度も高まり、大勢の来場者の安全対策として、会場警備の強化及び医療班・介護班を設置することにより、事故なく事業を実施したことで事業目的を達成できたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算についてご報告させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初提出のありました予算書の収入2,500,000円に対し決算書では、2,669,854円となっております、169,854円の収入増となっております。

つづきまして、支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額900,000円に対し、決算額が816,120円となっております、83,880円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初より出演者を減らしたことが主な要因であります。

次に、消耗品費につきまして、当初予算額40,000円に対し、決算額が11,392円となっております、28,608円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存の物を使用することにより購入を減らしたことが主な要因であります。

次に、食料費につきまして、当初予算額110,000円に対し、決算額が110,319円となっております、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、出演者の弁当代、作業に伴うスタッフの飲料代でございます。

次に、印刷製本費につきまして、当初予算額180,000円に対し、決算額が162,000円となっております、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、チラシでございます。

次に、役務費につきまして、当初予算額10,000円に対し、決算額が5,302円となっております、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、切手代、振込手数料等でございます。

次に、委託料につきまして、当初予算額630,000円に対し、決算額が769,340円となっております、139,340円の増額となっております。増額の理由といたしましては、舞台の設置費用の値上がりが主な要因であります。

次に、原材料費につきまして、決算額が9,739円となっております。当初予算では見込んでなかったですが、ちょうちんを吊るロープなどが老朽化しており、急ぎで購入することになったためであります。

続いて対象外経費については、予算当初計上されていた抽選会景品代等が減額になってはいるものの、予算書で計上されていなかったスタッフユニフォームの購入費やスタッフの打ち上げ等で155,642円の増となっております。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関

係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号3 「国府校区納涼大会実行委員会」でございます。

事業の目的といたしましては、町会に属さない住民の方や家庭での孤立化が増加し、地域住民の関係が希薄になっているなか、納涼大会を通じて、地域住民の交流の機会を創出し、地域住民のつながりの再構築・強化を図ろうとするものでございます。事業内容につきましては、国府小学校にて盆踊りや地域各種団体によるボランティア参加の模擬店、国府校区などの有志の鼓笛隊や踊りの発表など各種団体が一同に介し催し物を行う国府校区納涼大会を開催し、盆踊りや模擬店を通じ参加者が世代を超えた文化交流や伝統継承が出来き、また、納涼大会を通じて、顔なじみを増やすことで、地域住民のつながりを深くし、犯罪や非行防止にも役立っているとの実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算についてご報告させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

当初提出のありました予算書の収入2,210,000円に対し決算書では、3,169,699円となっております。959,699円の収入増となっております。

つづきまして、支出の部でございますが、まず、報償費につきましては、当初予算額110,000円に対し、決算額が50,000円となっております。60,000円の減額となっております。減額の理由といたしましては、盆踊りの音頭取りを当初10名予定していましたが、5名と人数を減らしたことが要因となっております。

次に、旅費につきましては、決算額が2,530円となっております。買い出しでの高速代、駐車代となっております。

次に、消耗品につきましては、当初予算額87,700円に対し、決算額が80,778円となっております。概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、事務用品、ブルーシート、ゴミ袋等でございます。

次に食料費につきましては、当初予算額220,000円に対し、決算額が93,493円となっております。126,507円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初見込んでいたよりも少ない作業人数で準備を行なったことが要因となっております。

次に印刷製本費につきましては、当初予算額140,000円に対し、決算額が200,012円となっております。60,012円の増額となっております。増額の理由といたしましては、来場者向けの模擬店の配置図やイベントの予定表等のポスターをわかりやすくするため、当初予定していた規格より大きく作成したことにより増額になった要因でございます。

次に、役務費につきましては、当初予算額83,300円に対し、決算額が3,484円となっております。79,816円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算書において計上されていた傷害・損害賠償に係る保険料が、他団体が負担したことから対象外経費として67,070円計上されたことが要因となっております。

次に委託料につきましては、当初予算額530,000円に対し、決算額が484,340円となっております。概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、物品レンタル及び設置作業、ごみ処理、仮設電気工事、警備でございます。

次に原材料費につきましては、当初予算額39,000円に対し、決算額が57,192円となっております。概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、やぐらの材料費でございます。

次に、使用料につきましては、決算額が34,200円となっております。プロパンガス代となっております。当初、消耗品費で見込んでおりましたが、使用料に費目替えさせてい

ただきました。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号6 緑ヶ丘世代間交流実行委員会でございます。

同団体の事業の目的ですが、シニアから子どもまで全世代が参加できる夏祭りを開催し、これを通じて地域住民の世代間の交流を促進し、協働・共生の促進を図ることを目的としております。

事業内容につきましては、8月2日にいずみ緑ヶ丘自治会館及び桃山学院大学において緑ヶ丘夏祭りが開催されました。参加者が約1200~1500名あり、模擬店、子ども遊び広場、盆踊り、ビアガーデン、ハワイアン演奏やフラダンス等の催しが行われました。

事業の成果といたしましては、昨年度より桃山学院大学の協力のもと、子ども向けの遊びや模擬店が好評で、参加者も幅広くなり、世代間の交流が深められたといった実績報告となっております。

まず、収入の部でございますが、当初提出のありました予算書の収入1,300,000円に対し決算書では、1,250,888円となっており、49,112円の収入減となっております。次に支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額310,000円に対し、決算額が188,811円となっており、121,189円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初見込んでいたよりも、出演者への謝礼や参加賞の費用がかからなかったことで減額となっております。

次に、消耗品費につきまして、当初予算額140,000円に対し、決算額が98,223円となっており、41,777円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存の物を使用することにより購入を減らしたことが主な要因であります。

次に、食料費につきまして、当初予算額50,000円に対し、決算額が38,574円となっており、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、出演者の弁当、作業に伴う飲料になります。

次に、印刷製本費につきまして、当初予算額30,000円に対し、決算額が10,843円となっており、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、周知用チラシになります。

次に、役務費につきまして、当初予算額3,000円に対し、決算額が9,610円となっており、6,610円の増額となっております。増額の理由といたしましては、行事保険を当初見込んでいた人数より多くなったことが増額の要因となっております。

次に、委託料につきまして、当初予算額300,000円に対し、決算額が297,410円となっており、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、物品レンタル及び設営撤去業務、仮設電源電気工事になります。

次に、原材料費につきまして、当初予算額240,000円に対し、決算額が311,828円となっており、71,828円の増額となっております。増額の理由といたしましては、熱中症対策でガーデンクーラーを吊るす台の木材が必要になったことや参加者の増員を見込んで夜店の材料を増やしたことが増額の要因となります。

次に、備品購入費につきまして、当初予算額100,000円に対し、決算額が95,688円となっており、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、仮設電源向け分電盤、配線器具になります。

最後に対象外経費として、スタッフの設営撤去作業に対する報償費190,500円、撤去作業時のスタッフの弁当に対する食料費9,401円の計199,901円が計上

されております。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号7番 和泉市音楽家連盟「音の和」でございます。同団体の、事業の目的ですが、クラシック音楽の普及と地域の音楽文化向上に寄与することを目的としております。

同団体より提出のありました事業報告書を基に事業内容を確認したところ、8月8日に和泉シティプラザの弥生の風ホールにて、舞台背景に様々な絵画を投影し、それにちなんだ名曲の演奏を行っております。それにより、クラシックに馴染みのないお客様にもよりわかりやすく音楽と絵画に興味を持ってもらえるような内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算についてご報告させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

予算書の収入688,000円に対し決算書では、549,892円となっており、138,108円の減収となっております。

つづきまして、支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額60,000円に対し、決算額が26,000円となっており、34,000円の減額となっております。減額の理由といたしましては、ゲストの謝礼を無くしたことが主な要因であります。

次に、委託料につきまして、当初予算額27,000円に対し、決算額が23,250円となっており、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、舞台監督、チケット販売でございます。

次に、印刷製本費につきまして、当初予算額72,500円に対し、決算額が18,235円となっており、54,265円の減額となっております。減額の理由といたしましては、デザイン等を自身で作成したことでデザイン料をおさえたことが主な要因であります。

次に、使用料及び賃借料につきまして、当初予算額318,500円に対し、決算額が272,882円となっており、45,618円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算当初どの曲にするか決まっておらず、著作権使用料を多く見込んでいたが、支出をおさえるために著作権がかからない曲を使用したことが主な要因であります。

次に旅費につきまして、決算額が400円となっております。

内容といたしましては、駐車代でございます。

次に食料費につきまして、当初予算額3,000円に対し、決算額が832円となっており、2,168円の減額となっております。減額の理由といたしましては、調律師の弁当を無くしたことが主な要因であります。

次に役務費につきまして、当初予算額17,000円に対し、決算額が10,170円となっており、6,830円の減額となっております。減額の理由といたしましては、広告掲載をなくしたことが主な要因であります。

次に消耗品費につきまして、当初予算額15,000円に対し、決算額が5,323円となっており、9,677円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存の物を使用することにより購入を減らしたことが主な要因であります。

最後に対象外経費として、練習時のスタッフのお茶代に対する食料費2,800円、

会員が行う演奏準備や台本製作等への謝礼が190,000円の計192,800円が計上されております。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号16番 NPO 現場見学バスツアー実行委員会でございます。同団体の、事業の目的ですが、フィールドワーク行うことにより、現在活躍中のNPOと語り合い、ネットワークの輪を広げ、市民活動の活性化を図ることを目的としております。

同団体より提出のありました事業報告書を基に事業内容を確認したところ、9月18日にNPO現場見学バスツアーを実施。3つの現場を訪問し、それぞれの現場での話や見学することにより、市民活動の必要性を参加者に感じていただくことができたとの実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算についてご報告させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

当初提出のありました予算書の収入120,000円に対し決算書では、109,950円となっております、10,050円の収入減となっております。

つづきまして、支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額15,000円に対し、決算額が10,000円となっております、5,000円の減額となっております。減額の理由といたしましては、訪問した1施設が謝礼を辞退されたことが主な要因であります。

次に、旅費につきまして、決算額が7,400円となっております。内容といたしましては、スタッフの交通費でございます。

次に、印刷製本費につきまして、当初予算額6,000円に対し、決算額が880円となっております、5,120円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初、チラシを業者に発注する予定でありましたが、自ら作成したことで経費がかからなかったことが主な要因であります。

次に、使用料及び賃借料につきまして、当初予算額99,000円に対し、決算額が90,400円となっております、概ね予算通り執行されています。内容といたしましては、マイクロバスのレンタル代となっております。

次に、役務費につきまして、決算額が1,270円となっております。内容といたしましては、行事保険代でございます。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号19 青葉はつが野世代間交流推進委員会でございます。

事業の内容といたしましては、地域のお祭りとして「第34回青葉台夏祭り」を実施しており、まつりを通じて、近隣の新興住宅との絆を強め、また子ども達に発表の場を提供することで、自信と成長につながり、世代間における交流を深め、安全安心の街づくりを推進するために事業を実施しました。

事業の成果といたしましては、地域の団体による舞台発表と手作りの夜店の出店により、多数の親子連れや小中学生の参加があり、多世代にわたる交流ができ、地域間の親睦を深め、子どもたちに楽しい思い出となる事業が実施できたとしており、また、昨年度の課題であった高齢者の参加促進では、今年度の重点課題として取り組み、参加された高齢者から高く評価されたといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

当初提出のありました予算書の収入2,280,000円に対し決算書では、2,300,319円となっており、20,319円の収入増となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

まず、報償費につきまして、当初予算額100,000円に対し、決算額が10,000円となっており、90,000円の減額となっております。減額の理由といたしましては、記入漏れが多く、不明瞭な領収書であったため、対象外経費といたしました。次に、旅費につきまして、当初予算額15,000円に対し決算額が32,060円となっており、17,060円の増額となっております。増額の理由といたしましては、予算で見込んでいたよりも買い出し等で交通費がかかったのが主な要因です。

次に消耗品費につきまして、当初予算額より、548,387円の増額となっておりますが、主な増額の要因につきましては、夜店の材料費として計上されておりました原材料費を経費の性質から消耗品費に費目変えを行ったこととございます。

次に食料費につきましては、当初予算額60,000円に対し、決算額が69,943円となっており、概ね予算通り執行されております。内容といたしましては、出演者への飲食代でございます。

次に、印刷製本費につきましては、当初予算額10,000円に対し、決算額が30,240円となっており、20,240円の増額となっております。増額に理由につきましては、チラシ・プログラムの枚数の増加やデザインをカラーにしたことが主な要因でございます。

次に、役務費につきまして、当初予算額10,000円に対し、決算額が24,972円となっており、14,972円の増額となっております。増額の理由につきましては、郵送代の増加が主な要因となっております。

次に、委託料につきまして、当初予算額500,000円に対し、決算額が462,056円となっており、37,944円の減額となっております。減額の理由につきましては、雨天時の対策を当初予算で見込んでいたことが主な要因であります。

次に、使用料及び賃借料につきまして、当初予算額110,000円に対し、決算額が97,970円となっており、概ね予算通り執行されております。

次に、原材料費につきまして、当初予算より746,918円の減額となっておりますが、こちらは先程消耗品費においてご説明させていただいたとおり消耗品費に費目変えを行ったことからの減額でございます。

最後に、対象外経費として物品購入や打ち上げの費用やスタッフの飲食代等について631,609円を計上しております。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号33 NPO法人いずみ太鼓でございます。

事業の内容といたしましては、「災害復興応援チャリティーイベント いずみの国弥生まつり」を実施しており、市民に災害に対する意識や知識、関心をもってもらい、災害に強いまちづくりを進めることと、また、報道されない被災地の現状を風化させないため、多くの方に知ってもらうことを目的に事業を実施されました。事業の成果といたしましては、ワークショップの参加者と災害復興支援曲を演奏することや福島県いわき市から大阪に避難してきた方から今の被災地の復興の様子を講演していただき、また、和泉市消防本部より防災について学ぶことで、災害に対する日頃の心構えの大切さと、震

災を風化させない取り組みと震災復興に関心を持っていただくイベントとなる事業になったと実績の報告の受けております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

当初提出のありました予算書の収入1,417,600円に対し決算書では、1,346,308円となっており、71,292円の収入減となっております。

つづきまして、支出の部でございますが、

まず、報償費につきまして、当初予算額385,000円に対し、決算額が372,000円となっており、概ね予算通り執行されております。内容につきましては、プロの演奏者の出演料と演奏曲の指導料、司会者への謝礼でございます。

次に、消耗品費につきましては、当初予算額30,000円に対し決算額が60,973円となっており、30,973円の増額となっております。増額の理由といたしましては、事業実施日が雨天予報であり、雨をしのぐためにブルーシート等を購入したことが主な要因となっております。

次に、印刷製本費につきまして、当初予算額60,000円に対し決算額が71,200円となっており、概ね予算通り執行されております。内容といたしましては、プログラム、啓発チラシの印刷費用でございます。

次に、役務費につきましては、当初予算額25,000円に対し決算額が18,791円となっており、概ね予算通り執行されております。内容といたしましては、保険料と郵送費、振込手数料でございます。

次に、委託料につきまして、当初予算額679,000円に対し決算額が663,040円となっており、概ね予算通り執行されております。内容といたしましては、舞台設営・音響委託、交通整理に係る警備費、トラックの運送料でございます。

次に、使用料及び賃借料につきまして、当初予算額153,600円に対し決算額が118,400円となっており、35,200円の減額となっております。減額の理由といたしまして、なるべく空調を使わず、舞台のみ使用したため、空調代があまりかからなかったことが要因でございます。

次に、食料費につきましては、予算の都合上削減いたしました。

次に、備品費につきまして、横断幕の作成費用として当初予算を見込んでいましたが、舞台の大きさやデザイン等が決まらず、作成を残念したことにより、決算額が0円となっております。

最後に、対象外経費につきまして、法被の購入費として、41,904円計上されております。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

以上、実績報告の提出がありました7団体の概要でございます。

事務局と致しまして、これらの団体より提出された実績報告書及び事業報告書、収支決算書を精査させていただいた結果、対象事業を適正に遂行されたものと解しております。

これもちまして、実績報告のありました7団体についての説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

【会長】

はい。ありがとうございました。では、1団体ずつ見ていきたいと思いますが、まずは、1番の「のぞみ野街づくり推進委員会」であるが、ご意見、質問がありましたら、よろしくをお願いします。

(異議なしの声)

【会長】

特に問題はないかと思うので、それでは認めるということにします。

団体番号3の「国府校区納涼大会実行委員会」であるが、これは予算の決算が100万円近く違って、対象外経費の金券販売額が去年の2倍になっているというのは、売上げが上がっているのでしょうか。

【事務局】

去年が雨で、今年は晴天だったので大盛況で売上げが多かったというのを聞いています。

【会長】

他に何かありますか。

(異議なしの声)

【会長】

それでは認めるということにします。

次は団体番号6の「緑ヶ丘世代間交流実行委員会」であるが、特に問題はないということで認めるということにします。

続いて、団体番号7番の「和泉市音楽家連盟 音の和」であるが、特に問題はないということで認めるということにします。

続いて、団体番号16番「NPO現場見学バスツアー実行委員会」であるが、今回が初めてですか。

【事務局】

はい。今回からの参加になります。

【会長】

特に問題はないということで認めるということにします。

続いて、団体番号19番の「青葉はつが野世代間交流推進委員会」であるが、何か意見はありますか。

【委員】

原材料費が消耗品に代わっているということであるが、非常に額が多いが中身が変わったのか、中身は同じだが、もう一度、精査し直した結果、消耗品に該当する部分が大きかったのでしょうか。

【事務局】

内容は同じであるが、精査した結果、消耗品になったということです。去年の実績の時にそういう指導をさせていただいた結果で、予算の提出が去年10月なので、去年の提出以降に26年度の決算を指導させていただいたので、予算には反映できなかったという形です。

【会長】

では、認めるということにします。

団体番号33番「NPO法人いずみ太鼓」であるが、こちらは例年通りで認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【会長】

はい。では、全て認められたので、事務局の方で手続きの方をよろしくお願いします。

書類のところの課題のところは祭り系の方が祭りを実際実行した上での課題が書かれているところが多くて、そもそもちよいずに出されてきた時の地域の交流であるとか、そういう目的ではない課題が書かれているところがいくつか見られるので、その辺りは祭りの運営と課題とそもそもの目的をどれだけ満たされたのかということへの課題と受付の時に話をしてもらったほうがよいかと考えます。

では、引き続き、次第3の平成28年度事業の応募団体の審査についてであるが、審査団体の33団体と多いので、事務局の方で10団体ずつに分けて説明をお願いしたいと思います。

では、事務局の方から10団体ずつ説明をお願いします。

【事務局】

平成28年度事業における応募団体の申請状況及び各団体の事業内容について、公民協働推進室の山本よりご説明をさせていただきます。

まず、資料4「平成28年度「ちよいず」事業応募団体一覧」をお願いします。

まず、応募団体数は、33団体、申請事業の実施に伴う事業費総額は、35,608,942円となっており、それに対する団体からの支援希望総額は、12,777,440円となっております。

続きまして、各団体からの申請内容につきましては、事前に送付させていただいておりますファイルに提出された申請書類一式を綴じさせていただいております。その中に団体の概要調書、定款や会則などを綴じておりますので、ご確認をお願いしたく考えております。

また、申請資料の概略をまとめさせていただいたものが資料5「平成28年度 応募団体一覧」となっております。本日は時間の都合上、概ねこちらの資料を中心にご説明させていただきますと考えております。

本資料におきまして、事業の必要性及び事業の概要をまとめさせていただいており、事業の必要性については、事業を実施することとなった背景及び事業目的を記載しており、事業の概要については、その目的を達成するために実際にどのような事業を行うの

かを記載させていただいております。

なお、資料6につきましては、判定結果をご記入していただくシートとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

継続事業につきましては、事業の目的や事業概要はおおむね変わっていない団体がほとんどでございますので、今回新規団体を中心に説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、最初の10団体について説明させていただきます。

団体番号1、あおばお助け隊でございます。こちらは事業名も同じでございます。

こちらは、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。また、本団体につきましては備品の購入を予定しております。内容につきましては、備品購入シートをご覧くださいませうか。内容といたしましては、「エンジン草刈機」、「電動チェーンソー」を各1台、生垣バリカンを3台であり金額が6万円であります。また、必要性といたしましては、使用頻度が高く、作業日程を調整する必要があることから借用物に頼るのも難しい。また、業務用ではなく、使用頻度が高いとどうしても壊れてしまい、買い替えが必要となります。事業自体が年間を通して行う事業であることからレンタルによるのが難しいことから購入を検討されております。

次に、団体番号2 ミータスコア・グループ未来の宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2016でございます。

こちらにも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号3 のぞみ野街づくり推進委員会の第12回のぞみ野夏まつりでございます。

こちらにも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号4、和泉だんじり大連合青年部会の和泉だんじり祭継承事業でございます。

こちらにも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号5、緑ヶ丘世代間交流実行委員会の緑ヶ丘夏祭りでございます。

こちらにも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

また、本団体につきましては備品の購入を予定しております。内容につきましては、備品購入シートをご覧くださいませうか。内容といたしましては、屋外用のアンプ、スピーカ、ラジカセであり、必要性といたしましては、27年度事業での課題でありました、音響不足についての対応と会場を離す関係で独立した屋外用のアンプ、スピーカが必要で購入を検討されております。

次に団体番号6、松尾連合地車連絡協議会の松尾連合地車祭継承事業でございます。

こちらにも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号7、総合型地域スポーツクラブ大阪和泉光倶楽部の光明台地区を中心とした子どもと中高年齢者の身体づくり事業でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号8、和泉市少年少女合唱団でございます。こちらは事業名も同じでございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号9、社団法人 和泉青年会議所の第5回わんぱく相撲和泉場所でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号10、青葉はつが野世代間交流推進委員会の第35回青葉台夏まつりでございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

以上で、団体番号1～10の説明を終わらせていただきます。
よろしく願いいたします。

【会長】

はい。ありがとうございます。説明があった1から10の団体に関して、意見があればよろしく願いします。

備品を購入するところは備品購入シートを出してもらって、事務局で検討するという
ことで、まずは団体番号2番「あおばお助け隊」であるが、草刈機、チェーンソー、電動バリカンとあるが、去年も出されていたのでしょうか。

【事務局】

聞き取りをさせてもらったところ、家庭用ということもあって、修理するよりも買い替える方がということで、使用頻度が高いということが、壊れる原因で購入を検討しています。

【会長】

やはり、業務用になると値段が高くなります。

あとは「緑ヶ丘世代間交流実行委員会」の音響のほうであるが、何か聞いていますか。

【事務局】

今年、音が小さいという事を参加者から指摘され、屋外用のアンプを検討しています。

【委員】

備品については今後、どれくらい継続してこの事業が続けられるのかというのが問題になると思うが、例えば、「あおばお助け隊」のチェーンソー、バリカンは備品といえど

も、かなり消耗が激しいものなので、年数は持たないと思います。

「緑ヶ丘世代間交流実行委員会」のアンプスピーカーは長持ちすると思うが、今後の継続性という事をいえば、過去の実績を見ると、歴史も古く、ちょいずにも参加しているので、そういう部分でみると認めるというのも妥当だと考えます。

【会長】

「あおばお助け隊」もこれまで参加していて、最初の頃から備品に関しては購入希望がずっとあって、どうにか認めてきたという経緯もあるので、1、2年で壊れるということであれば、今後も活動する事が見込まれるので、認めてもいいかと思うし、「緑ヶ丘世代間交流実行委員会」の方もちょいずに参加する前から夏祭りはかなり昔からされていると思うのでこのまま認めるということにします。

他の団体はどうか。新規の団体ではないので、内容的にはこれまでと変わらないと思います。

【委員】

団体番号10番「青葉はつが野世代間交流推進委員会」、費目では適切な予算計上だと考えます。

【会長】

では、1番から10番まで、この内容で申請を認めるということでもよろしく願います。

次の10団体の説明を事務局の方からよろしくお願いします。

【事務局】

次に団体番号11、和泉・ねころじの会の地域猫活動でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

また、本団体につきましては備品の購入を予定しております。内容につきましては、備品購入シートをご覧くださいませでしょうか。内容といたしましては、キャットトラップケージ（猫専用捕獲器）であり金額が2台で、26,800円であります。必要性につきましては、野良猫の捕獲・保護用及び動物病院への移動用などに使用するためには不可欠なものであり購入を考えております。他団体の活動の活発化に伴い、借用が困難であり、また、年間を通じて使用するものであり、使用頻度も高く、レンタル等の対応は難しいことから購入を検討されております。

次に団体番号12、NPO法人いずみ太鼓の災害復興応援チャリティーイベント いずみの国弥生まつりでございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

また、本団体につきましては備品の購入を予定しております。内容につきましては、備品購入シートをご覧くださいませでしょうか。内容といたしましては、横断幕であり金額が4万円あります。必要性につきましては、事業を継続的に行っているが、何の事業を行っているのかがはっきり判るように行事名を入れたものを作成したいとのことであります。

次に団体番号13、信太連合の信太連合（聖大祭・地車祭の安全対策、PR活動、清掃）でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

団体番号14、いずみ子ども文楽の会のいずみ子ども文楽でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要につきまして、大きく変わっているものではございません。事業規模につきまして、定期公演を和泉市立いぶき野小学校体育館で行うことで、昨年度より会場使用料が不要となり減額されております。

次に団体番号15、いずみこどもAIDの不登校のこどもの居場所でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要につきまして、大きく変わっているものではございません。事業規模につきまして、28年度事業より、会員のみ会議や研修会は、人権文化センター等で借りて行ない、本事業のみ事務所を使用することから、光熱水費についても家賃同様、本事業における日数分を対象経費とさせていただいており、増額されております。

次に団体番号16、和泉の国ジャズストリート実行委員会の和泉の国ジャズストリート2016でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号17、国府校区納涼大会実行委員会の国府校区納涼大会でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号18 NPO法人音楽サポートネット音結の夢コンサートでございます。こちらは、新規事業であり、事業の必要性につきましては、障害児・者が地域の中で、のびのびと自己表現できる機会や、交流する機会が少ないので、音楽を用いた活動を行うことにより心身の機能向上や社会参加の支援・促進をすることを目的として事業を実施します。

また、事業の概要につきましては、5月から毎月1回実行委員会を実施し、6月にスケジュール、プログラムを作成。7月に総合的な打ち合わせをし、8月に和泉市コミュニティセンター多目的ホールにてコンサートを実施する計画をしています。

次に予算書につきまして、事業費総額が274,500円、内、対象経費が246,500円であり、支援希望額が123,000円となっています。内訳といたしまして、収入の部から支援金123,000円、事業収入が60,000円、自主財源91,500円となっております。

次に、支出の部につきましては、274,500円を総額とし、内、対象経費が246,500円を計上しております。内容といたしましては、使用料及び賃借料、委託料、印刷製本費、消耗品費、役務費、旅費、食料費となっております。対象外経費といたし

ましては、スタッフのみ練習のため会場費やスタッフの日当代として28,000円計上しております。

次に団体番号19、三林柔道育成会の武道必修化による柔道ふれあい体験事業でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号20、泉州信太山盆踊り保存会の伝統文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要につきましては、大きく変わっているものではございません。事業規模につきまして、講座の回数を増やしたり、広くPRするためのポスターを作成する予定であり、昨年度より増加になっております。

以上で、団体番号11～20の説明を終わらせていただきます。
よろしく願いいたします。

【会長】

はい。では、11から20の審査に入りたいと思うが、団体番号11番「和泉・ねころじの会」は、活動自体は順調ですか。

【事務局】

「和泉・ねころじの会」の問合せは、事務局でも多いので活動は活発にされているようです。

【会長】

最初に活動をちょいずで認めるかどうかと意見は色々あったが、その後、市の方でトラブル等は聞いていますか。

【事務局】

はい。聞いていません。

【会長】

会員の名簿のプロフィールのところ、ちょいずでこの会に入ったという方がおられるので、活動に関心、興味がある方がいるのかというのを改めて感じます。

備品のゲージについては、この団体の活動の一番必要なものだと思います。

団体番号12番の「NPO法人いずみ太鼓」は、備品が横断幕になっているがどうでしょうか。

【事務局】

以前に「いずみっ子」が横断幕を備品で今年の8月に判定会で審査したが、しっかりと横断幕を予定していたので、備品としてという事になりました。

【委員】

先程、実績報告にあったが、横断幕をやめているがなぜでしょうか。

【事務局】

横断幕を27年度で作成を予定していたが、会場の大きさやデザインで日数が間に合わず、27年度は断念して28年度できちんとした横断幕を作成したいという事を相談されたので、もう一度予算に挙げています。

【会長】

お金の問題というよりも、どういうものを作りたいかという事で踏み切れなかったのかという事であるのでしょうか。

【事務局】

会の中でもいろんな意見があったり、会場の大きさがまず決まらないと、横断幕の大きさもデザインも決まらなかったというのがありました。

【会長】

団体番号15番の「いずみこどもAID」で、収支予算書のところで光熱水費を今回から加えているということであるが、家賃に関しては、場所を決めて、子どもたちが来る場所を確保するというのが一番重要な事なので家賃を認めて行くという事で話が止まっていたと思いますが、プラス電気と水道というくらいなののでしょうか。

【事務局】

事業のみでしか使わないという事で聞いているので、光熱水費等を今年は計上しました。

【会長】

いかがでしょうか。

【委員】

本来している事業が、行政がある程度応援しなければならないような事業なので、それをしていただいているというのは、非常に有難いと考えられるので、ちゃんと切り分けしての光熱水費だったりするので、認めていけると思います。

【会長】

はい。こういう支出の仕方というのが、「いずみこどもAID」だけだと思うので、今後、こういう活動を期待するところがあるので、毎回、気にしながら止めていくより、制度としてきっちり認めていけるということを作っていく事を考えた方がいいかと思います。

新規で団体番号18番 「NPO法人音楽サポートネット音結」は初めての参加であるのですか。

【事務局】

はい。初めての参加です。去年から相談はされていました。

【会長】

「NPO法人音楽サポートネット音結」は、対象となる方たちというのは、住所は和泉市緑ヶ丘になっていますが、その周辺の方たちを対象として考えているのでしょうか。

【事務局】

NPO法人としての事業実績も挙げていただいている団体になっていて、特に限定しての活動をするという事は聞いていません。

【会長】

では、特に問題がないようであるので、承認ということにします。

11番から20番の団体に関しては、認めるということにします。

続いての10団体の説明をよろしくお願いします。

【事務局】

はい。それでは団体番号21番から説明させていただきます。

次に団体番号21、四季の味覚祭実行委員会の四季の味覚祭～地産地消による地域活性化イベントでございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号22 和泉市ディスコン協会の第9回和泉市地域交流ディスコン大会でございます。こちらは、新規事業であり、事業の必要性につきましては、地域の高齢化が進み、人と人との交流が少なく、近隣住民とのつながりも希薄である。また、昔に比べ交流する場や機会がないので、地域での孤立化が問題となっているのが現状である。ディスコンの普及活動を通じて、世代間の交流の機会をつくり、活動を推進することで地域の結びつきを深めることもでき、また、スポーツを通じて体力の向上、健康福祉の向上に寄与することを目的に実施します。

また、事業の概要につきましては、1月に実行委員会を発足し、3月～4月に初心者講習会や審判のスキルアップ講習会を開催し、5月に和泉市立市民体育館で和泉市地域交流ディスコン大会を実施する計画をしています。

次に予算書につきまして、事業費総額が62,000円、内、対象経費が62,000円であり、支援希望額が30,000円となっています。内訳といたしまして、収入の部から支援金30,000円、事業収入が14,000円、協賛金が5,000円、自主財源13,000円となっております。

次に、支出の部につきましては、62,000円を総額とし、内、対象経費が62,000円を計上しております。内容といたしましては、使用料及び賃借料、報償費、消耗品費、役務費、印刷製本費、食料費となっております。

次に団体番号23 月の明かりコンサート実行委員会の月の明かりコンサートでございます。こちらも、新規事業であり、事業の必要性につきましては、東日本大震災で被災者の方の支援をするうちに、地域住民のつながりの必要性を感じ、また、チャリティーコンサートを実施することで、音楽を通じて地域住民の交流を図り、参加者に募金をしてもらうことで、災害への意識の風化をさせないことを目的とし事業を実施します。

また、事業の概要につきましては、お寺にて、8～10組のアーティストに出演してもらい、チャリティーコンサートを開催。来場者から募金を募ります。集めた募金につ

いては、支援金や支援物として、ただ送るのではなく、実行委員が現地に訪問し、支援物を届け、現地の方々と音楽を通じて、心の豊かさを育むような事業を実施する計画をしています。

次に予算書につきまして、事業費総額が246,000円、内、対象経費が246,000円であり、支援希望額が123,000円となっています。内訳といたしまして、収入の部から支援金123,000円、事業収入が50,000円、自主財源73,000円となっております。

次に、支出の部につきましては、246,000円を総額とし、内、対象経費が246,000円を計上しております。内容といたしましては、報償費、委託料、食料費、印刷製本費、消耗品費となっております。

次に団体番号24、内田町ボランティア蛸の会の蛸の放流・鑑賞会でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号25、レインボーシードのほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号26、和泉市音楽家連盟「音の和」の和泉市音楽家連盟「音の和」9th コンサート としておき名曲コンサート（仮）でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号27、はつが野街づくり推進委員会のはつが野祭りでございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号28、パソコン会の障がい者のためのパソコン教室でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に、団体番号29、伯太フェスタ実行委員会の伯太ふれあいフェスタ2016でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号30、ガールスカウト大阪府第28団の野外クッキング&防災でございます。

こちらも、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

以上で、団体番号21～30の説明を終わらせていただきます。

よろしく願いいたします。

【会長】

はい。それでは団体番号21番から30番の団体の審査に入りたいと思います。

団体番号22番「和泉市ディスコン協会」が新規であり、ニュースポーツなので、障がい者や高齢者がやりやすいスポーツですね。

事業名の和泉市地域交流ディスコン大会というのをするだけで、市民の方が投票する時に何をやる団体なのか理解できるように、名前を工夫されてもよいと思う。ディスコンの説明をもう少し書いていけば分かりやすいが。

【事務局】

PRシートでは写真でどういうことをされているのかというのを指摘し、写真を載せています。

【会長】

申請金額も少ないので、大きくは望んでいないのかもしれないですね。

【事務局】

活動は活発にしている団体で、年輪大学から依頼があれば教えに行ったり、各小学校にも教えに行っています。

【委員】

これまでは自分たちでやって来たということであるが、制度を今まで知らなかったのですか。

【事務局】

去年からちょいずの参加を希望されていて、書類が難しいということで迷っていたところ、やっと、今年団体の方と協力してできるということになりました。

【会長】

団体番号23番「月の明かりコンサート実行委員会」の代表の方は、住職なのでしょうか。

【事務局】

一般の市民の方です。

【委員】

コンサートはチャリティーであるが、そこで支援金や支援物資を届けるというところまで、事業内容に書いているが、その辺りの旅費が上がっていないが、今後、上げてくる可能性はないのですか。

【事務局】

今のところ聞いているのは、お寺の中でチャリティーコンサートがメインで、最終持って行かれるというのまでは、この事業としては考えていないと聞いています。

【会長】

事業内容のところには、現地に訪問して直接届けるということになっているが、この

事業計画書で認めていくと、あとで支出のところ申請するという、追加が出てくる可能性はあって、その場合に、こちらでも事業内容書いてあるのを認めるとなると、その支出も認めるという形になってくると思います。

【事務局】

団体と相談して、内容を確認して、皆さんには報告したいと思います。

【会長】

「月の明かりコンサート実行委員会」に確認してもらい、修正があれば連絡をお願いする。全体としては認めます。

それでは、事務局に31から33までの説明をお願いします。

【事務局】

次に団体番号31、こどもNPOセンターいずみっ子のおもしろ体験型市場「こども市」でございます。

こちら、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号32、いずみの国自然館クラブの自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館の設立運営事業でございます。

こちら、継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模につきまして、大きく変わっているものではございません。

次に団体番号33 コーラスグループぶどうの木の東日本大震災支援ボランティア体験プログラム&報告会でございます。こちら、新規事業であり、事業の必要性につきましては、東日本大震災は、関西に住んでいる私たちにとっては過去のことのようになっているが、まだまだ復興とはいえない状況が続いている。このような状況は、メディアでも伝えられていないので、実際現場に行って学ぶことが大切であり、そのことを広く市民に啓発するを目的として事業を行います。

また、事業の概要につきましては、1月から会議を行ない、また、現地で打ち合わせをする。5月か9月の連休に体験プログラムを実施する。実施後、アイ・あいロビーにて啓発活動として報告会を開催する計画をしています。

次に予算書につきまして、事業費総額が697,500円、内、対象経費が600,000円であり、支援希望額が300,000円となっています。内訳といたしまして、収入の部から支援金300,000円、事業収入が300,000円、自主財源97,500円となっております。

次に、支出の部につきましては、697,500円を総額とし、内、対象経費が600,000円を計上しております。内容といたしましては、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料となっております。対象外経費といたしましては、宿泊費として、97,500円を計上しております。

以上で、団体番号31～33の説明を終わらせていただきます。

よろしく願いいたします。

【会長】

はい。

団体番号33番「コーラスグループぶどうの木」が新規ということで、内容としては、15人の方が南相馬市に行かれてコーラスを通したボランティア活動をされるということであるのですか。

【事務局】

実際にボランティアを体験した方からの報告を来ていただいた方にし、実際に和泉市が被災にあった時に役立つ情報を伝えて、啓発する事業になっています。

【会長】

もし支援金額が少なく、交付金額が少なかったら、かなりの持ち出しになると思いますが。

【事務局】

今までも活動はしていて、NPO見学ツアーの新田さんがされているという形で、前からこれをやっていたという関係があり、相談されてエントリーされました。

【会長】

他になければ、この3団体についてもこの内容で認めるということにします。
では、次第4、その他事務連絡についてお願いします。

【事務局】

では、今後のスケジュールについて説明させていただきます。

まず、27年度については今日が第3回目の判定会である。今後、12月の結果を受けて、判定会で実績報告された団体に結果の通知をさせていただきます。

1月下旬頃に第4回判定会の開催を予定している。第5回の判定会は3月下旬に予定をさせていただいています。

平成28年度事業については第3回判定会で支援対象者の審査をさせていただいて、1団体だけ、皆さんに後日、報告させていただきます。団体紹介冊子、選択届出用紙等を業者に委託、発注させていただいて、1月下旬に出来上がる予定であります。2月の広報誌に全戸配布させていただいて、2月1日から2月29日にかけて、選択届出をさせていただきます。3月下旬に選択届出結果の報告をさせていただき、公表させていただきます。来年は第1回判定会を4月中旬頃開催予定をさせていただいて、そこで変更交付申請の審査、参加団体の意見交換会を予定しています。以上です。

【会長】

では、今回はネットでの届出はできますか。

【事務局】

はい。初めてのことで、団体紹介冊子等にQRコードも入れて、携帯からも届出できるよう考えております。

【会長】

はい。よろしくをお願いします。では、本日の判定会を終了したいと思います。